



## ケガの原因 8 : やけど

～「乳幼児」で多く発生しています～

### 1 実際の事故事例

#### 高齢者 【65歳以上】

○長時間の電気アンカの使用により、足をやけどした

#### 大人 【18歳～65歳未満】

○調理中に熱湯が顔にかかり、やけどした

○タバコに火をつけようとしたところ、火が前髪に着火し、顔をやけどした

#### こども 【7歳～18歳未満】

○調理中に油が手及び足にかかり、やけどした

○カップラーメンを作ろうとした際、誤って足に熱湯をかけてしまい、やけどした

#### 乳幼児等【0歳～7歳未満】

○ストーブ上で沸騰したヤカンの湯が足にかかり、やけどした

○テーブルの上に置いてあったマグカップを倒し、熱湯が顔と胸にかかり、やけどした

○テーブルの上に置いてあったミルク用ポットを倒し、熱湯が手にかかり、やけどした

○テーブルの上に置いてあったスープを倒し、スープが顔、肩にかかり、やけどした

### 2 予防と対策

#### ☆調理中の注意

○調理中の油や熱湯を取り扱う時は、よそ見をせず、十分注意が必要です。

#### ☆低温やけどに注意

○体温より少し高め(44℃～50℃)の物に長時間触れたことでもやけどをします。湯たんぽやカイロなどは、就寝前には取り出しましょう。

#### ☆テーブルの上の高温料理に注意

○小さなこどもの手の届くところには置かず、テーブルの中央に置くなど配慮しましょう。

**小さなこどもがテーブルの上の物を触れたことにより、こぼしてやけどするケースが多く発生しています。こどもは危険予知ができないため、大人の注意、心がけが大切です！**

「予防救急」を始めましょう